



TITLE:

色読み取りクラゲ

土橋 怜奈

三郷工業技術高等学校

作ったキッカケ

私も友達も絵を描くことが好きなのですが、デジタルでは様々な色を簡単に選べてやり直しが可能なのに対し、アナログではそのようなことは簡単にはできないと感じていました。そこで、クラゲをモチーフにした360°どこからでも色についての情報をより便利に見ることができるロボットを考えました。

どんなロボット

クラゲの傘の上についている位置マーカの役割を持つ小さな球体を情報の欲しい色の上に置きます。この球体を追ってクラゲが動き、足の中心にあるセンサーが働いて、目的の色を読み取り、クラゲの傘のフチの部分で4つの情報を見ることができます。

1 読み取った色は何色が混ざってできているか

2 読み取った色の補色

3 選んだ色を混ぜるとどんな色になるのか

4 選んだ色が遠い所ではどのように見えるのか

立体物の色を知りたくなった時には、そのための第一関節ほどの小さなクラゲを uses。

クラゲは小さな足で指に掴まっていて、対象物の上で数秒間かざすと大きなクラゲへと読み取った色を送信し、同じようにその色についての情報を見ることができます。

